

アイヌ文化と出会おう（その2） 「アイヌ紋様をつくろう！」

前回に引き続いて、ミナミの会のひろ子さんとミアさんをゲストに迎え、アイヌ紋様を通してアイヌ文化について学びました。 2016年5月7日（土）@社会科演習室

（1）アイヌ紋様のお話

アイヌ紋様は、基本的に魔よけの意味があります。今日教えてもらったのは**モレウ**（うず）と**アイウシ**（とげ・つの）。自然界にあるものがこのデザインになったそうです。祖母から母へ、母から娘へと、家紋のように家ごとに受け継がれていきました。



（2）アイヌ紋様のデザインをつくる

モレウと**アイウシ**の組み合わせで、無限の紋様を創り出すことができます。



（3）折り紙でアイヌ紋様をつくろう

完成した紋様をラミネートしました。切り抜いた部分も、また新たな紋様として配置します。十人十色の模様。



(4) デコペンでアイヌ紋様をつくろう

昨年は刺繍を教えてくださいましたが、今回はデコペンに挑戦！とっても楽しみました。



アイヌの歌と踊り

アイヌの歌や踊りの中から、あいさつの踊り、ムックリ（口琴）の演奏、のど遊び、山の神様に感謝する歌を聞かせてもらいました。お二人の透き通るような声に感動！！



* シヌイエ（入れ墨）*

ひろ子さんとミアさんは民族衣装に着替え、口の周りと手の甲に、シヌイエの代わりに化粧をしてスタンバイ。そして、踊りの前に、民族衣装を着る時このような化粧をする理由を話してくれました。

シヌイエは、女性たちが自分の身を守るための風習でした。しかし明治時代になってこれを「野蛮」という理由で禁止しました。そのことによって、シヌイエをしていた人たちや、それをしている女性が連れだっていた子どもたちが、いじめや差別にあうようになります。そして女性たちはシヌイエをしていることを「恥」と思うようになってしまったのです。同じようなことが今も起こっていませんか？自分と違って何か不思議に思ったことがあったら、なぜ？と本人に聞いてみるのが、理解し合うために大切だと教わりました。

